

「ゆくつと」とは、房総の方言で「ゆっくりと」の意味。自然の家でゆくつとしよう。

発行所／千葉市少年自然の家 〒297-0217 千葉県長生郡長柄町針ヶ谷字中野1591-40 TEL(0475)35-1131 発行人／赤澤 晃

体験活動とコミュニケーション



今回は、千葉大学環境健康フィールド科学センター教授の徳山郁夫教授に「体験活動とコミュニケーションの関係性」についてお話を伺いました。

Q1, クライミングウォールなどの体験活動がコミュニケーション能力向上に有効だといわれていますが、それはなぜでしょうか。

自分とは異なるもの(人、動物、自然等)に出会ったとき、子どもは考えるようになっていきます。コミュニケーションとは、「おはよう」と言ったら返してくるような人との関係だけではなく、花の面倒を見ていたり動物と遊んでいたりするような、人以外との関係も含まれます。形だけの「あいさつ」をさせるよりも、自分とは異なるものによって得た気づきを、大人が親身になって聞いてあげる姿勢が、子どものコミュニケーション能力を養う上で重要になってくるのではないのでしょうか。

のびのびと遊びの時間を持たせ、色々な問題にぶつかって、そこで体験し得た考えや知識には、経験・感覚から感じられた実感的な根拠があります。仲間に話したいことや伝えたいことを一生懸命話そうとする気持ちを、大人がうまく引き出し汲み取っていくことで、子どもの中に自我や仲間を思いやる気持ちが生まれていきます。体験活動を通して、自分が何を考えているのか、相手は何を考えているのか、その考えを話し合っ共有し確認していくことが子どもの成長に繋がっていくでしょう。

家庭や友達同士でトラブルがあって人間関係をわずらわしいと感じていることもあるので、常にコミュニケーションを取ることが良好な人間関係を作るとは限りません。しかし、教室や部屋でじっとして嫌なことに目をつぶっていれば回避することはできますが、辛いことや我慢しなければいけないことと真正面か



らぶつかって解決していくこともコミュニケーション能力を養うために必要なことだと思います。子ども同士で問題が起きた場合は、柔軟な修復力があるので多少痛い思いをしても、良い

刺激や経験となるかもしれません。

また、経験の一つとして様々な人との関わりも重要な役割を果たします。普段接することのない人をメディアを通してしか知ることができないのでは、経験としてリアリティが感じられません。メディアを通してではなく、地域や教育機関を通じて幅広い年代の方や職種の方と直接交流ができるようになれば、子どもの考える力がより一層豊かになるでしょう。そして、世界の反対側で暮らしている人々や料理として出てくるもの、過去に生きていた方の本などの生活を共にしていないものとの関係性(命の支えあい)を見出し、空間的に物事が捉えられるようになっていけば、コミュニケーション能力の向上に繋がっていくのかもしれないね。

Q2, 子どもたちと体験活動を行う上で、大切なことはどんなことでしょうか。

自分が楽しんで遊び、その姿を子どもに「すごい! あの人みたいに遊びたい!」と思ってもらえるようになること、且つ、遊びながら安全管理がしっかりとでき、子どもに与えられる害を最小限に減らしていくことではないのでしょうか。新しいことにチャレンジしたり、遊びの中で作戦を練ったりすることで、子どもの感情に起伏が出てきます。活動後は、大人側が一方向的に諭すのではなく子どもに語りの場を設けてあげることで、下手でも話をしますし、聞いてもらいたいという気持ちがあれば良い言葉を選んで自ら話をしてくれるようになるでしょう。

今回インタビューをさせていただいた徳山先生には、3月7日(日)に自然の家で行なう「人間関係トレーニング講座 行動編」で講師をしていただきます。みなさんぜひご参加ください。

インフォメーションBOX

スタッフ
おすすめ

人間関係トレーニング講座



人と人が関わるために必要なコミュニケーションにとって、大切なことは何でしょうか？行動編では、体験型ワークショップを通してコミュニケーションについて考えます。会話編ではT・A・アサーションを中心としたコミュニケーションの基礎と実践法を学びます。

あなたのコミュニケーションを豊かにしませんか？

- 【対象】 18歳以上の学校教員を目指す方、学校教員、青少年指導者など(高校生不可)
- 【定員】 40名
- 【申込み】 電話にて受付(先着順)
※各回ごとのお申し込みになります。
- 【場所】 千葉市少年自然の家
- 【集合】 現地集合・現地解散
JR浜野駅より送迎バス有り
(詳しくはお問合せください)

行動編 ~体験を通してコミュニケーション能力を高めよう~

平成22年3月7日(日) 9:30~17:00

【参加費】 学生:2,500円、一般:3,000円
(資料代・昼食代含む)



会話編 ~気持ちのよいコミュニケーションを身につけよう~

平成22年3月14日(日) 9:30~17:00

【参加費】 学生:2,500円、一般:3,000円
(資料代・昼食代含む)



ファミリーキャンプ

春の野草クッキング&目指せ燻製マスター

平成22年3月13日(土)~3月14日(日) 1泊2日

春の息吹きを感じながら、所内に生えている野草を調理して食べてみましょう。また、ダッチオーブを使った燻製作りも行います。とっても簡単にできて、ちょっぴり大人の味が癖になる一品です。



野草クッキング

おいしい野草が見つかるかな？

うま味たっぷりの手作り燻製!



燻製作り

- 【参加費】 小学生:4,200円、中学生:4,400円、未就学児(3歳~6歳):3,900円、乳児(3歳未満):500円、大人(千葉市民):5,200円、(市民外):6,000円

【定員】 35家族

- 【申込み】 往復はがき以下の必要事項をご記入の上、少年自然の家へお送りください。
①主催事業名、②代表者氏名、③郵便番号・住所、④電話番号:自宅・携帯、⑤参加者人数:お子さんの学年・年齢
※1家族1通のお申し込み。お申し込み多数の場合は、抽選にて決定させていただきます。

【締め切り】 第8回:2月13日(土)必着

リスクマネジメント講座

平成22年2月28日(日) 9:30~17:00

自然体験活動では、自然環境の中で行なわれているため、様々な危険(リスク)があります。リスクマネジメントは現代の指導者にとっては、大切な技術と知識です。参加者の安全・安心と指導者の信頼のために、学びを深めましょう。

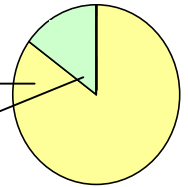
あつ、危ない!
と思ったことはありませんか?



昨年度参加者の声 (アンケートより抜粋)

今後のプログラムの安全について役立つ

とてもそう思う 85%
そう思う 15%



自由記入欄より

- ・「事前準備と事後の振り返り」「行動と思考」を常に実践し、子どもと共に高めあっていきたいと改めて思いました。
- ・とても勉強になりました。今自分がやるべき事が明確となり、危険がおりうる場面を再度考え直していきたいです。

【参加費】 2,000円(昼食代、プログラム代、教材費を含む)

【対象】 18歳以上の学校教員を目指す方、学校教員、青少年指導者など(高校生不可)

【定員】 40名

【申込み】 電話にて受付 平成22年1月15日(金)~2月20日(土)

市外少年団体・家族利用受付開始!!

【受付期間】 平成22年3月1日(月)9:00~

【申請方法】 先着順で受付します。電話でお申込みください。

★詳しくは千葉市少年自然の家ホームページをご覧ください★

TEL: 0475-35-1131 <http://www.chiba-shizen.jp>

